

『遠隔ICUと 遠隔小児重症患者支援の 今後の展望』

高木 俊介 先生

横浜市立大学附属病院 集中治療部 部長



2025年 4月 14日 (月)
18:00～ ハイブリッド開催

小児重症患者の入室実態をDPCデータで分析した結果、2022年度に成人重症病床に入室した小児患者(0～14歳)は10,739例で、小児重症患者の約50%が成人ICUに入室していた。そのうち、2日以上的人工呼吸管理は3,028例で、27%は小児加算が算定されていない病床への入室だった。この状況は北海道・東北・中国四国地域で顕著である。また、月1人以下の小児患者しか受け入れない医療機関が全体の約半数を占め、小児重症患者への対応に不慣れな状況で管理されている。今後、医療の質向上には集約化や役割分担の強化が必要で、遠隔医療の活用も期待される。

フラテホール および Zoom →
(北大医学部学友会館フラテ1階)

※Web参加の方は、Zoomミーティングにご登録の上お入り下さい



興味のある方はどなたでもお気軽にご参加下さい！

パソコンでの参加用URLをご希望の方は、下記アドレスにご連絡下さい

◎ 小児科医局 内5954

◎ e-mail: secretary-ped@med.hokudai.ac.jp